マテリアリティの進捗

伊藤ハム米久グループは、2021年度に7つのマテリアリティを特定しました。
2022年度にKPI（目標）を設定し、マテリアリティへの取り組みを進めています。

マテリアリティ特定のプロセス

サステナビリティ委員会

1 サステナビリティの「基本的な考え方」の策定

社外専門家のアドバイスや社会的要請を考慮し、策定。

2 社会課題の抽出

「ISO26000」「GRIガイドライン」、また「中期経営計画2023」などの事業戦略を踏まえて項目を抽出。

3 重要性の評価

ステークホルダーおよび当社グループにとっての重要度の観点から、さまざまな社会課題をマトリックスマッピング化。

4 取り組み項目の抽出

マッピングをもとに、マテリアリティの重点分野を分類。事業の持続性に対する影響に鑑み、具体的な取り組み項目を抽出。

5 有識者との対話

有識者・社外ステークホルダーと意見交換し、討議を実施。

取締役会

6 取締役会決議

取締役会での決議を経て開示。

7つの マテリアリティを特定

マテリアリティ	考え方	取り組み項目	KPI	2021年度の実績	2022年度の実績
健やかで豊かな食生活の実現	当社は、安全・安心で価値ある商品・サービスの提供を最優先としています。さらに、健康志向や簡便志向、食品ロスの低減など、多様なライフスタイルや社会的ニーズに対応した商品・サービスを提供していきます。	●良質なたんぱく質の提供 ●多様なライフスタイルに対応した商品開発と健康価値の提供 ●食品ロス低減につながる商品の拡大			
地球環境への配慮	当社は、当社事業が地球環境に密接に関連していることを認識し、資源の有効活用、温室効果ガス排出量の削減などの環境負荷の低減に努めるとともに、生物多様性にも配慮した取り組みを推進していきます。	●温室効果ガス排出量の削減 ●エネルギー・用水使用量の削減 ●廃棄物排出量の削減 ●生物多様性の保全 ●プラスチック使用量の削減	**温室効果ガス排出量（CO_2換算）**※1 2030年度に2016年度比半減、2050年にネットゼロ（2016年度：375,982t ⇒ 2021年度：368,127t ⇒ 2030年度：187,991t） **エネルギー・用水使用量（原単位）**※1 2021年度を基準年として毎年1%削減、3年で3%削減 **廃棄物排出量（原単位）**※1 2021年度を基準年として毎年1%削減、3年で3%削減	**温室効果ガス排出量（CO_2換算）** 368,127t **エネルギー（原単位）** 9.80GJ/t **用水使用量（原単位）** 17.6㎥/t **廃棄物排出量（原単位）** 94.2kg/t	**温室効果ガス排出量（CO_2換算）** 367,276t **エネルギー（原単位）** 9.75 GJ/t **用水使用量（原単位）** 16.9 ㎥/t **廃棄物排出量（原単位）** 90.9 Kg/t
従業員一人ひとりが活躍できる職場づくり	当社は、事業活動を支える従業員が安心して働くことができる職場環境を確保するとともに、多様な価値観と働き方を尊重します。従業員が企業とともに持続的な成長を目指していける風土を醸成していきます。	●人材開発・育成 ●ダイバーシティの尊重 ●ワークライフバランスの推進 ●労働安全衛生・健康管理・人権尊重	**研修参加人数（年間）** 2023年度　14,000名 **管理職の女性比率** 2030年度　10% **係長級の女性比率** 2030年度　20% **有給休暇取得率（一人当たり年間）** 2025年度　70%	**研修参加人数（年間）** 13,389人 **管理職の女性比率** 4.5% **係長級の女性比率** 11.0% **有給休暇取得率（一人当たり年間）** 62.8%	**研修参加人数（年間）** 13,942人 **管理職の女性比率** 5.4% **係長級の女性比率** 11.5% **有給休暇取得率（一人当たり年間）** 69.7%
持続可能な調達と安定供給の推進	当社は、畜産産業をはじめとした当社のすべてのビジネスパートナーと協調して人権尊重やアニマルウェルフェアなどの社会課題の解決を目指し、持続可能なサプライチェーンを構築していきます。	●持続可能な畜産産業への貢献 ●人権を尊重した調達の推進 ●アニマルウェルフェアへの配慮	**動物の糞のリサイクル率** 100%を維持 **ヘルスケア事業の売上高** 2025年度　105百万豪ドル **サプライヤー調査カバー率** 2022年度より調達額80%を対象として毎年実施 **妊娠ストール（豚）の廃止** 妊豚舎を新築・改築する場合は、妊娠ストール方式を廃止し、群飼方式もしくはフリーストール方式の飼育方法とする	**動物の糞のリサイクル率** 100% **ヘルスケア事業の売上高** 34百万豪ドル **サプライヤー調査カバー率** ー **妊娠ストール（豚）の廃止** 妊豚舎の新築・改築なし	**動物の糞のリサイクル率** 100% **ヘルスケア事業の売上高** 54百万豪ドル **サプライヤー調査カバー率** 155社に実施 **妊娠ストール（豚）の廃止** 妊豚舎の新築・改築なし
地域社会への貢献	当社は、地域社会の一員として、また、良き企業市民として、地球環境への配慮や安全衛生、雇用の創出など「社会との共生」を重視した取り組みを推進していきます。	●環境保全・美化活動の推進 ●地域社会の活性化			
コーポレート・ガバナンスの強化	当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方に基づき、最適なガバナンス体制を構築していきます。	●コンプライアンスの遵守・推進 ●リスクマネジメント			
妥協しない美味しさと高品質へのこだわり	当社は、これまで歩んできた歴史と技術の伝承を守りながら、すべてのお客様に喜んでいただける商品・サービスの提供を目指します。	●安全・安心な食品の提供※2 ●新たな価値をつくり続ける人材の育成 ●創業からの想いと長年培ってきた技術の伝承 ●お客様の声を反映した商品開発・商品改良	**食品安全の第三者認証拠点数**※2 2023年度　国内全生産施設（45施設）の取得完了	42施設の認証取得完了	44施設の認証取得完了

※1　各環境データを精査し、最新版に更新して掲載
※2　マテリアリティの取り組み項目を見直した結果、「安全・安心な食品の提供」を「妥協しない美味しさと高品質へのこだわり」として再設定（KPI食品安全の第三者認証拠点数も移行）